

# CHANGE!

多忙解消のための給特法改正を目指す和歌山のニュース

発行：和歌山県教職員組合生権局

2024年6月17日

第1号

## 中教審「審議のまとめ」では多忙解消ははかれない！ JR和歌山駅前で宣伝行動

和教組と和高教は6月1日、合同でJR和歌山駅前で、中教審「審議のまとめの問題点を広げるための宣伝行動」に取り組みました。

保護者や子どもも含め、16人が参加し、思いを訴え、「えがお署名」への協力を呼びかけました。

訴えを聞いた方が「先生に残業代が出ていないって知らなかったよ」と声をかけてくれたり、「子どもが教員をしている」とか「親戚が教員をしている」という方もおられて、どちらの方も「休みもなく大変やって言ってたわ」と話してくれました。

この日は全教が提起した「全国一斉行動」の初日で、東京、京都、大阪など全国12か所で同様の宣伝が行われました。



## 和教組大会終了後、会場前でも宣伝しました



止めてカンパをくれた退職教員の方もいました。

いま、政府・文科相は、教職員増員に背を向け、「定額働かせ放題」の仕組みを残そうとしています。このことを教職員だけでなく、たくさんの人に知ってもらって、多忙解消につながる制度の確立に向け世論を広げていくことが大切です。みんなでがんばっていきましょう！



### みんなで取り組みましょう

- 全教の中教審批判ピラで中教審「審議のまとめ」の内容を確認しましょう。
- 「審議のまとめ」に対する「職場決議」をあげましょう（全教が8月に文科相に提出します）。
- 中教審「審議のまとめ」へのパブリックコメントを送りましょう。
- 全教の要求集約フォーム（左の二次元コード）に意見を送りましょう（全教が文科省に伝えます）。

※全教ピラ、職場決議の用紙は支部から届きます